

島根県の地震

令和8（2026）年7月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

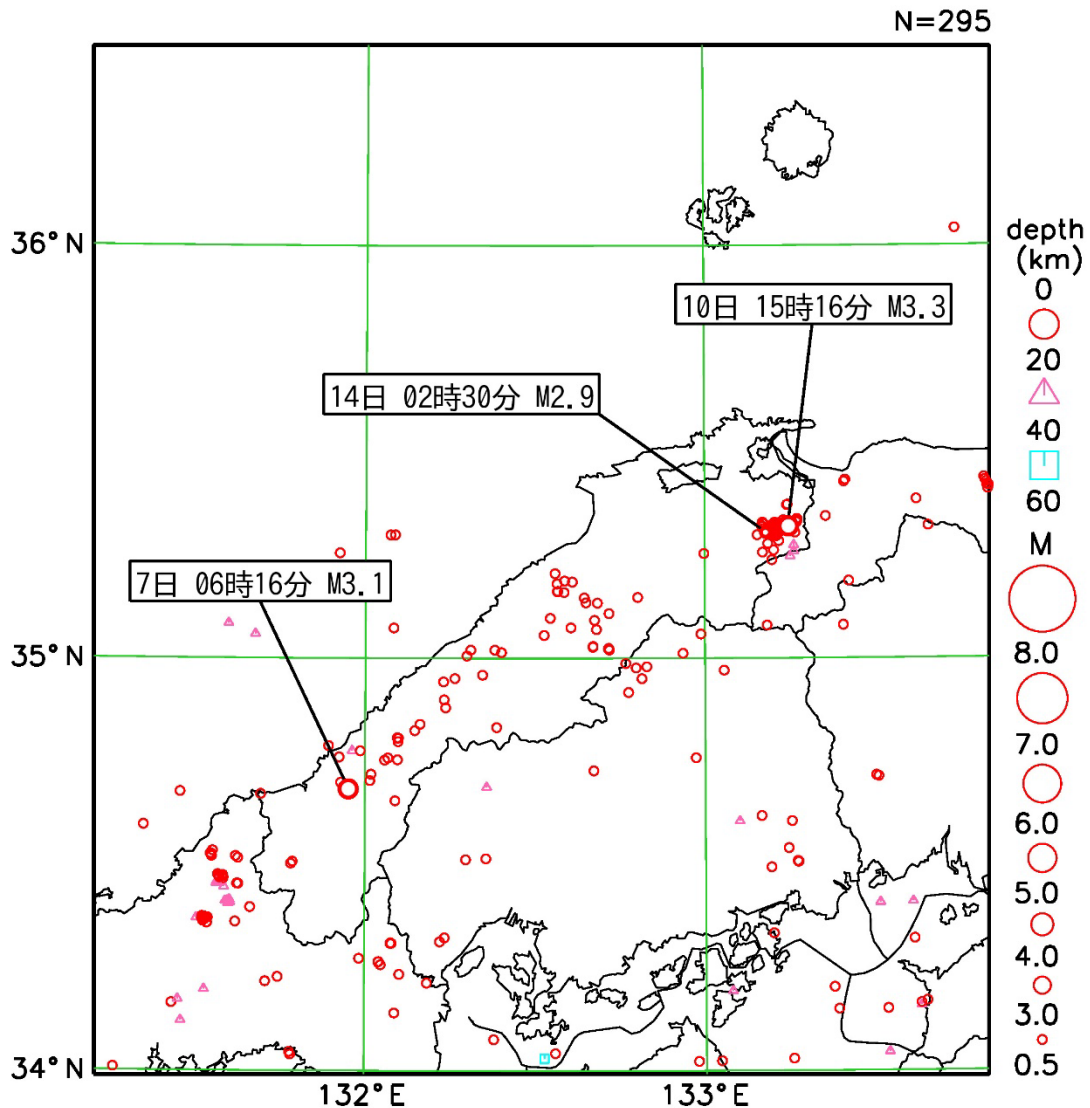
・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。

また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松江地方気象台

島根県およびその周辺地域の地震活動 2026年7月1日～31日

2026 07 01 00:00 -- 2026 07 31 24:00



[概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は295回（6月は288回）でした。

また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、7回でした。

1日08時40分 宮崎県北部平野部の地震（深さ14km、M5.1：地図範囲外）により、益田市で震度1を観測しました。また、宮崎県で震度4を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度3～1を観測しました。

7日06時16分 島根県西部の地震（深さ13km、M3.1）により、浜田市・益田市・津和野町・吉賀町、広島県で震度1を観測しました。

10日15時16分 島根県東部の地震（深さ13km、M3.3）により、松江市・安来市・雲南市・奥出雲町で震度1を観測しました。また、鳥取県で震度2を観測したほか、鳥取県、岡山県、広島県で震度1を観測しました。

14日02時30分 島根県東部の地震（深さ15km、M2.9）により、安来市、鳥取県で震度1を観測しました。

28日16時27分 熊本県熊本地方の地震（深さ16km、M7.1：地図範囲外）により、出雲市・浜田市・益田市・大田市で震度3を観測しました。また、熊本県で震度7を観測したほか、東海・甲信・北陸・近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度6強～1を観測しました。

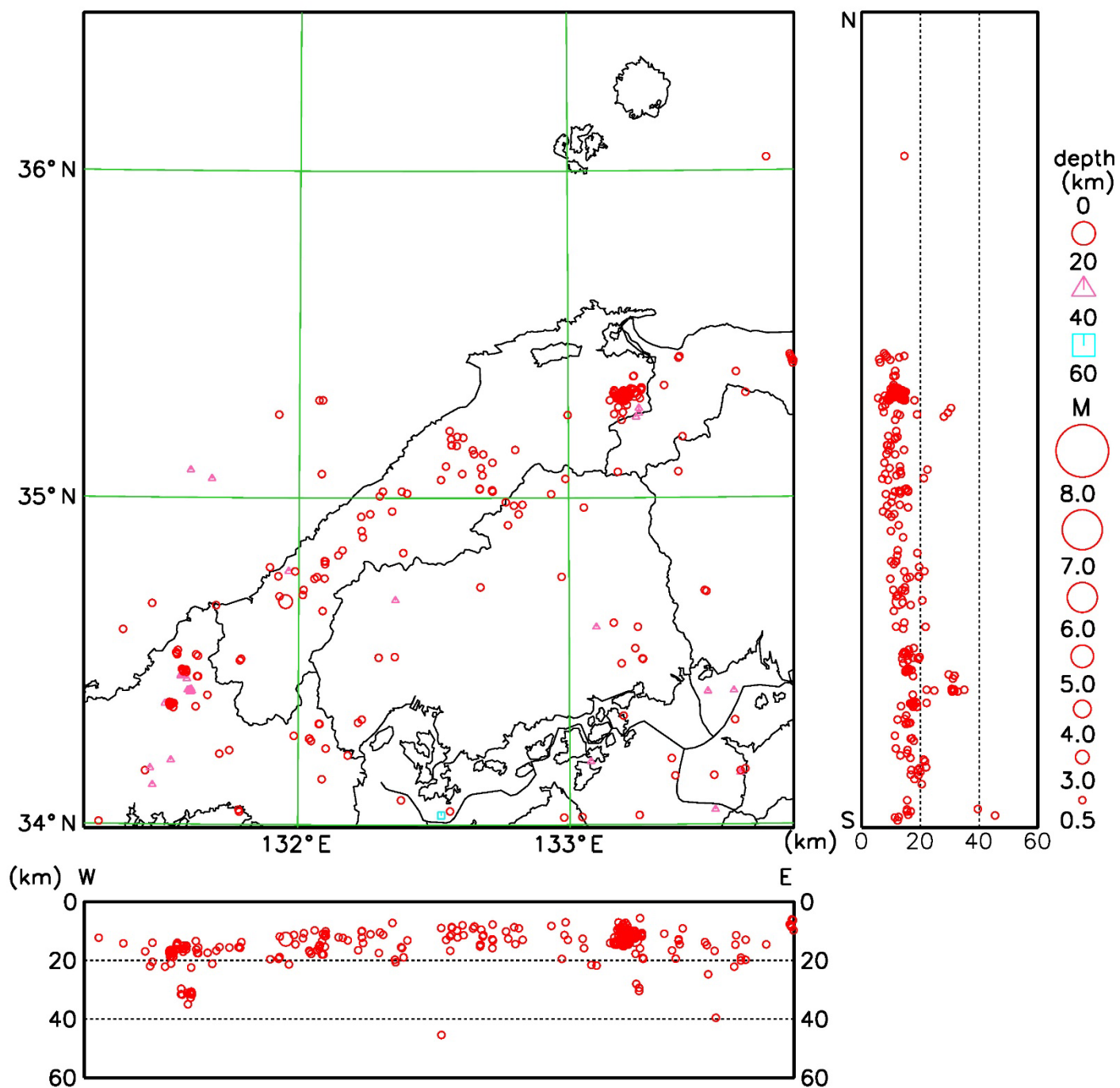
28日17時08分 熊本県天草・芦北地方の地震（ごく浅い、M6.1：地図範囲外）により、益田市で震度1を観測しました。また、熊本県で震度5弱を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度4～1を観測しました。

29日22時19分 熊本県天草・芦北地方の地震（深さ9km、M5.8：地図範囲外）により、益田市・大田市で震度1を観測しました。また、熊本県で震度5弱を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度4～1を観測しました。

気象庁では、令和8年7月28日16時27分頃に熊本県熊本地方で発生した地震及びそれ以降に発生した一連の地震活動の名称を「令和8年熊本地震」と決めました。「令和8年熊本地震」の詳細については、気象庁ホームページ及び地震調査研究推進本部ホームページを参照願います。

[断面図]

2026 07 01 00:00 -- 2026 07 31 24:00



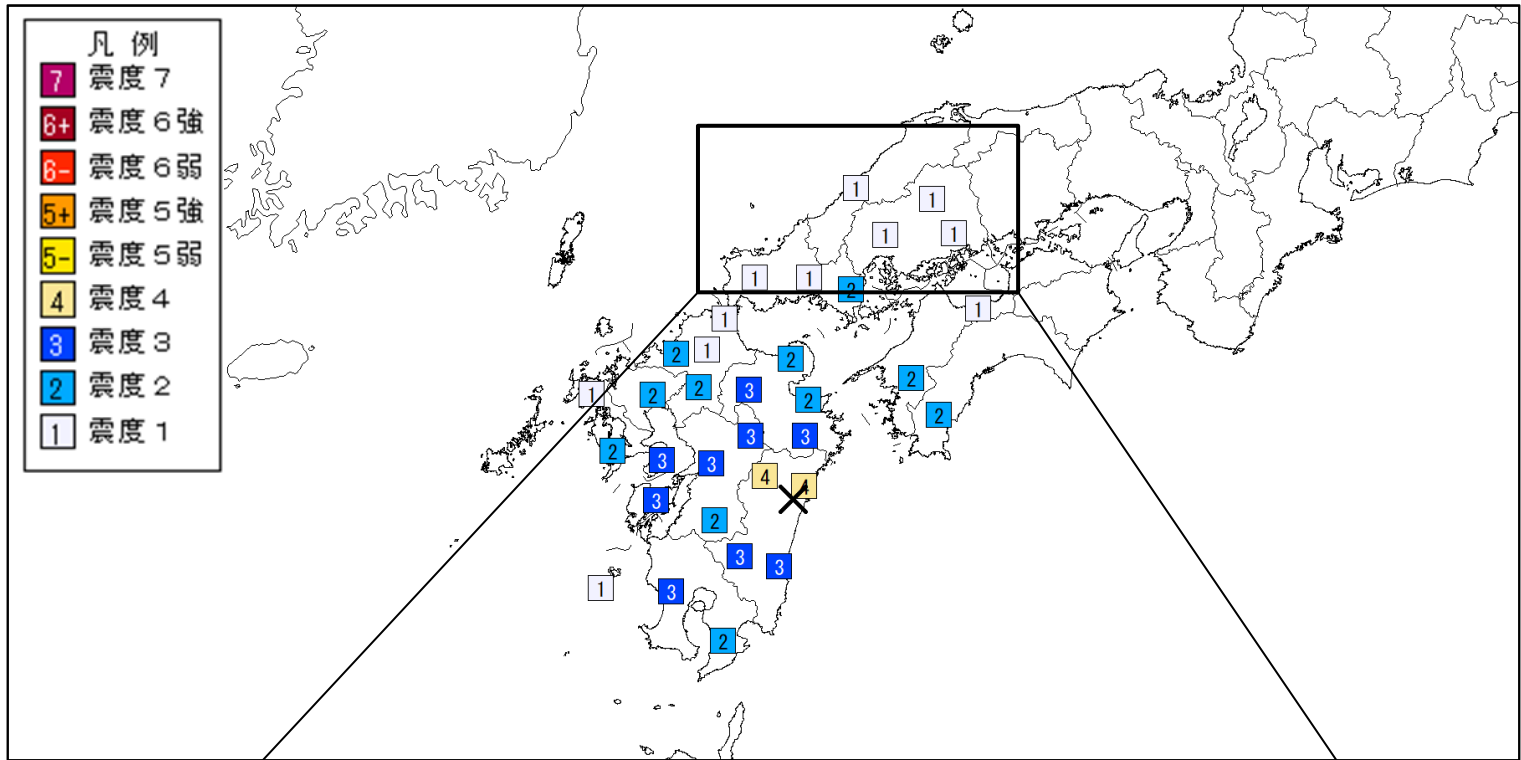
7月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2026年07月01日08時40分 ----- 地点震度 ----- 島根県	宮崎県北部平野部	32° 25.8' N	131° 32.1' E	14km	M5.1
震度 1 :	益田市常盤町 *				
2026年07月07日06時16分 ----- 地点震度 ----- 島根県	島根県西部	34° 40.9' N	131° 57.0' E	13km	M3.1
震度 1 :	浜田市三隅町三隅 *, 益田市美都町都茂 *, 津和野町枕瀬 *, 吉賀町柿木村柿木 *				
2026年07月10日15時16分 ----- 地点震度 ----- 島根県	島根県東部	35° 19.1' N	133° 14.8' E	13km	M3.3
震度 1 :	松江市東出雲町揖屋 *, 松江市八雲町西岩坂 *, 安来市広瀬町広瀬祖父谷丁 *, 安来市伯太町東母里 *, 安来市安来町 *, 雲南市大東町大東, 雲南市掛合町掛合 *, 奥出雲町三成 *				
2026年07月14日02時30分 ----- 地点震度 ----- 島根県	島根県東部	35° 18.2' N	133° 10.8' E	15km	M2.9
震度 1 :	安来市伯太町東母里 *				
2026年07月28日16時27分 ----- 地点震度 ----- 島根県	熊本県熊本地方	32° 37.5' N	130° 40.7' E	16km	M7.1
震度 3 :	出雲市塩冶有原町 *, 浜田市殿町 *, 益田市常盤町 *, 大田市仁摩町仁万 *, 大田市大田町 *				
震度 2 :	松江市学園南 *, 松江市玉湯町湯町 *, 松江市八束町波入 *, 出雲市今市町, 出雲市多伎町小田 *, 出雲市湖陵町二部 *, 出雲市斐川町上庄原 *, 出雲市平田町 *, 出雲市大社町杵築南 *, 安来市安来町 *, 益田市水分町 *, 益田市美都町都茂 *, 江津市桜江町川戸 *, 津和野町枕瀬 *, 吉賀町六日市 *				
震度 1 :	松江市西津田, 松江市鹿島町佐陀本郷 *, 松江市東出雲町揖屋 *, 松江市宍道町宍道 *, 出雲市坂浦町, 安来市伯太町東母里 *, 雲南市大東町大東, 雲南市三刀屋町三刀屋 *, 雲南市加茂町加茂中 *, 雲南市木次町里方 *, 飯南町下赤名 *, 奥出雲町三成 *, 浜田市大辻町, 浜田市野原町 *, 浜田市金城町下来原 *, 浜田市三隅町三隅 *, 浜田市弥栄町長安本郷 *, 益田市匹見町石谷, 益田市匹見町匹見 *, 大田市温泉津町小浜 *, 江津市江津町 *, 川本町川本 *, 津和野町後田 *, 島根美郷町君谷, 島根美郷町粕淵 *, 島根美郷町都賀本郷 *, 邑南町淀原 *, 邑南町矢上 *, 邑南町瑞穂支所 *, 吉賀町柿木村柿木 *, 隠岐の島町西町				
2026年07月28日17時08分 ----- 地点震度 ----- 島根県	熊本県天草・芦北地方	32° 25.1' N	130° 30.4' E	0km	M6.1
震度 1 :	益田市常盤町 *				
2026年07月29日22時19分 ----- 地点震度 ----- 島根県	熊本県天草・芦北地方	32° 22.8' N	130° 28.3' E	9km	M5.8
震度 1 :	益田市常盤町 *, 大田市仁摩町仁万 *				

・地点名の後に*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【地域震度分布図】

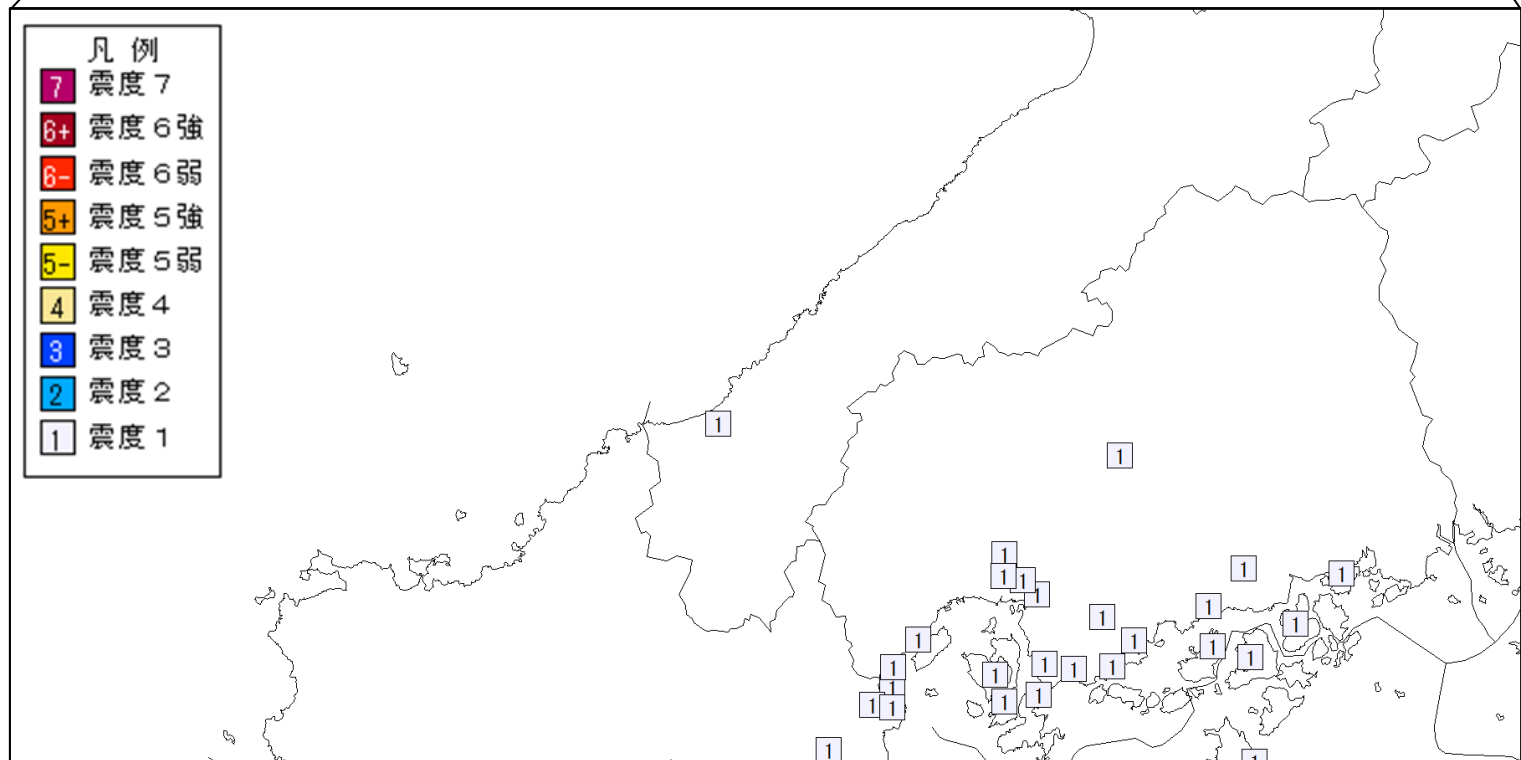
2026年 7 月 1 日 08 時 40 分 宮崎県北部平野部



×印は震央を示す

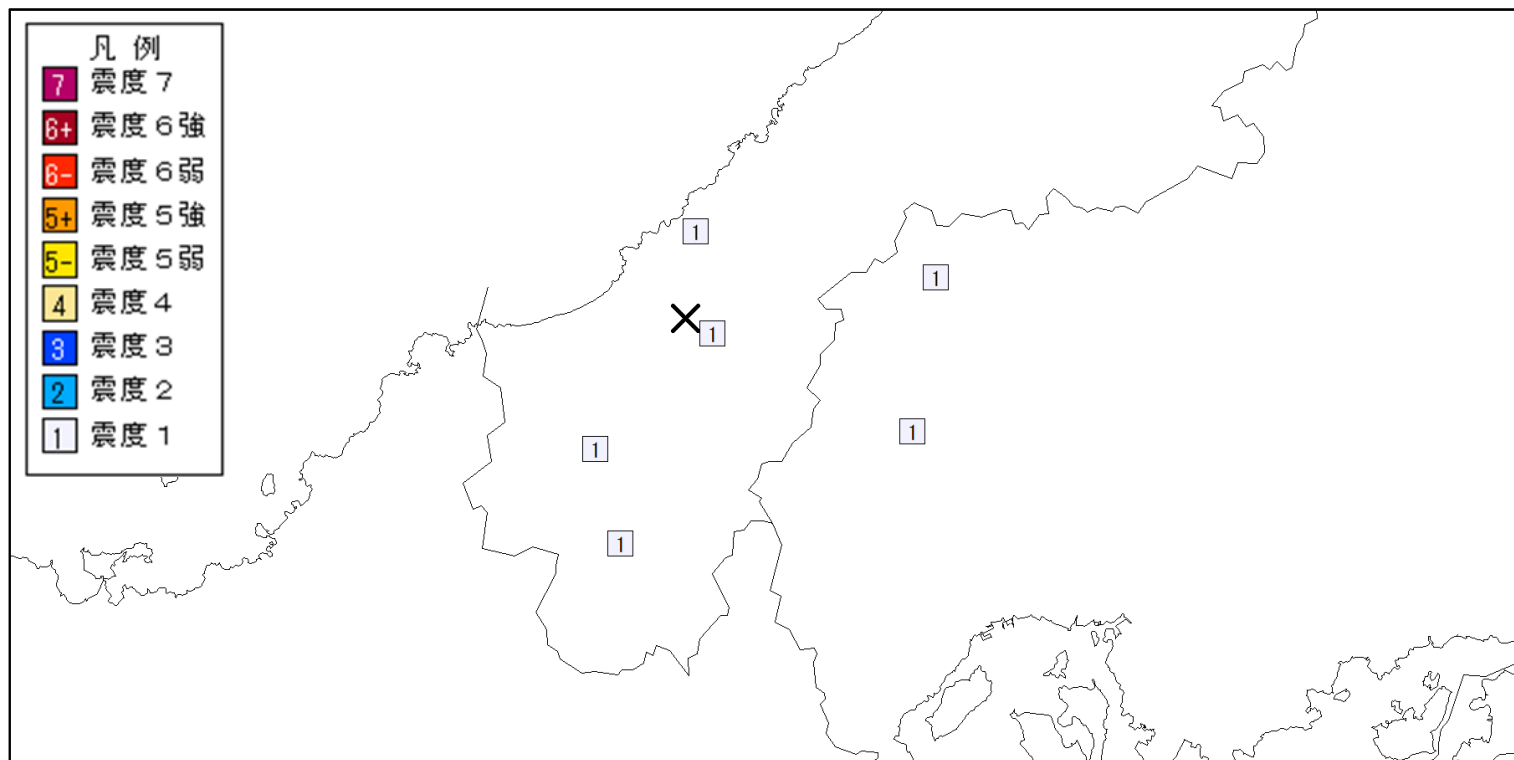
【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



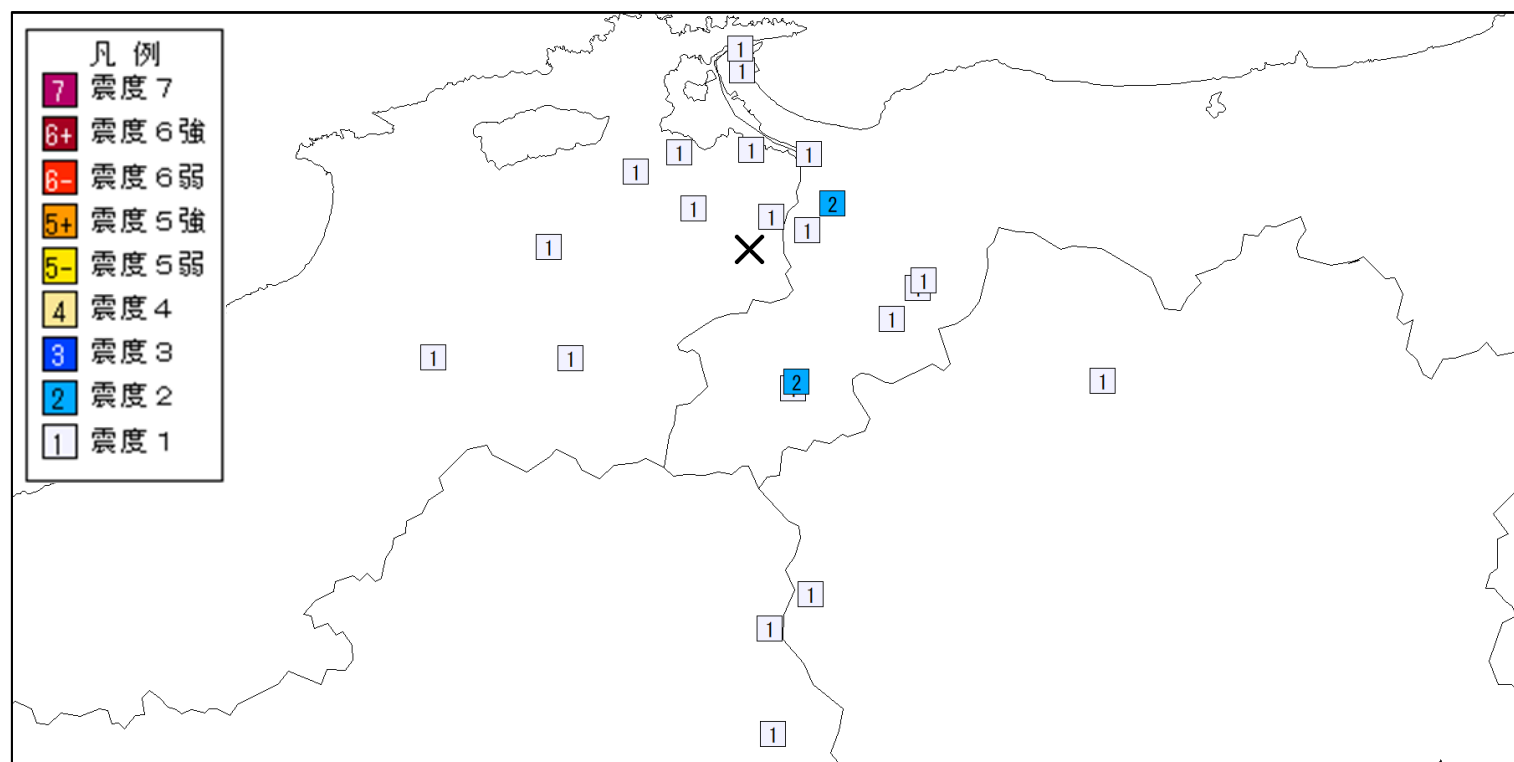
【観測点震度分布図】

2026年7月7日06時16分 島根県西部



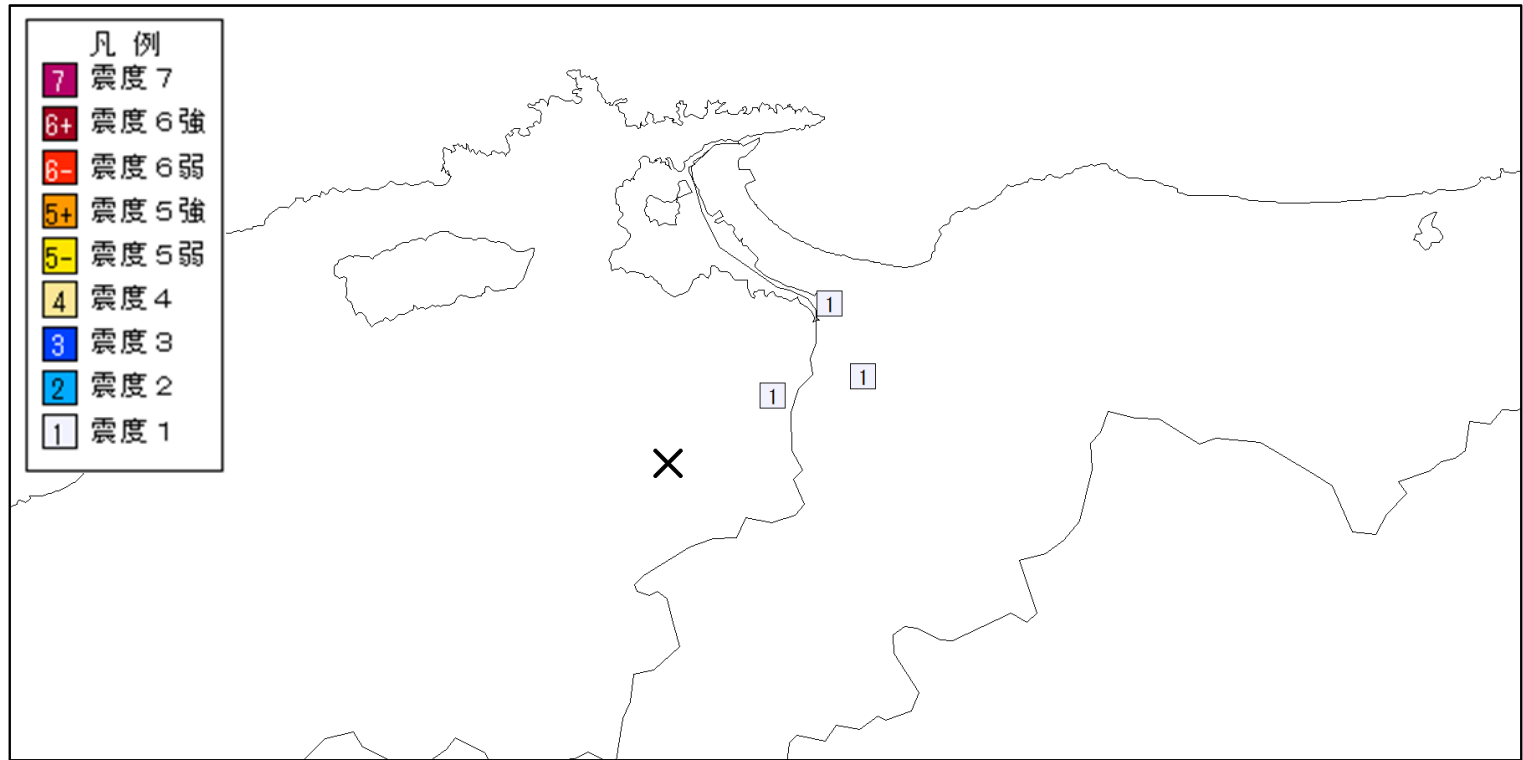
【観測点震度分布図】

2026年7月10日15時16分 島根県東部



【観測点震度分布図】

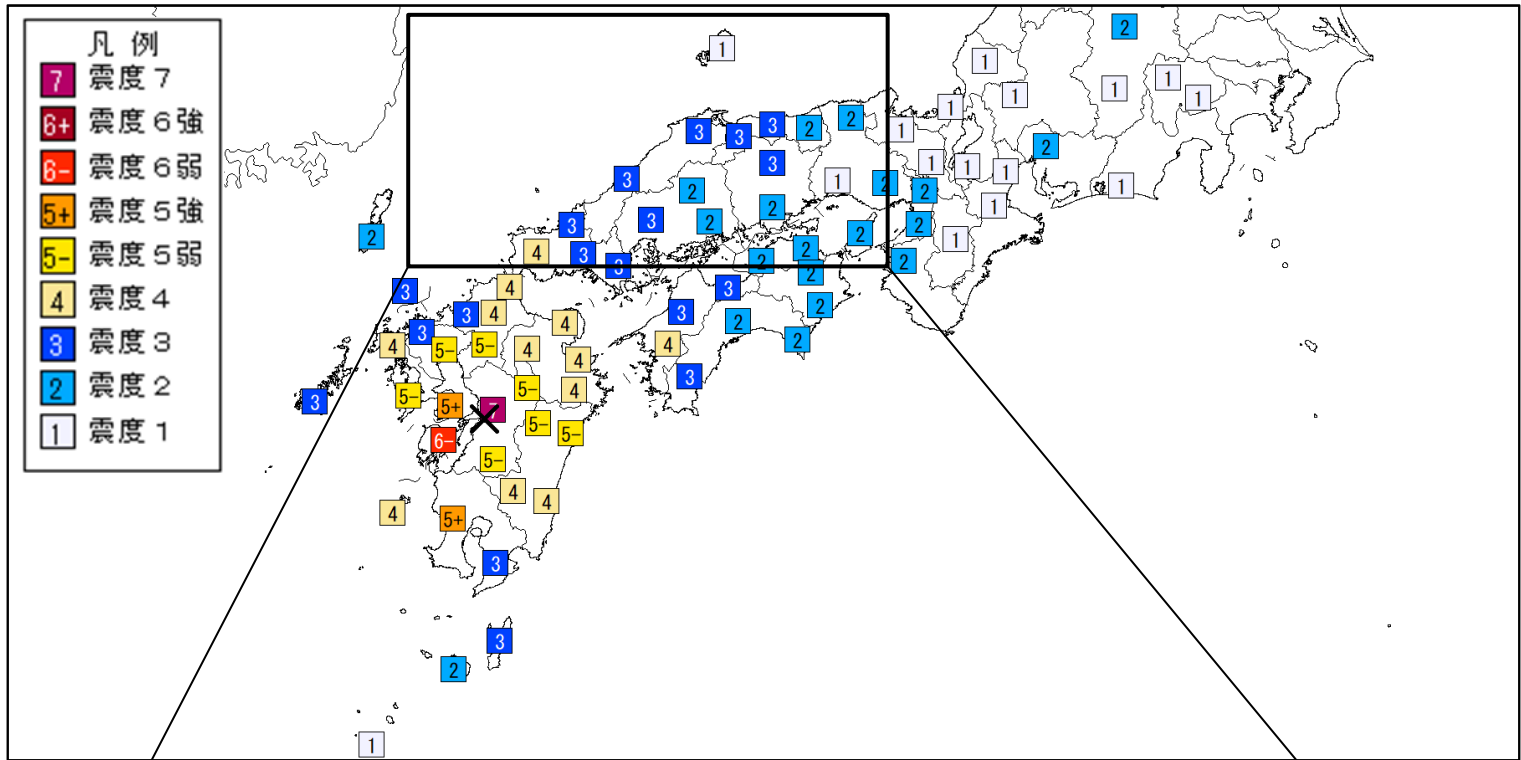
2026年7月14日02時30分 島根県東部



×印は震央を示す

【地域震度分布図】

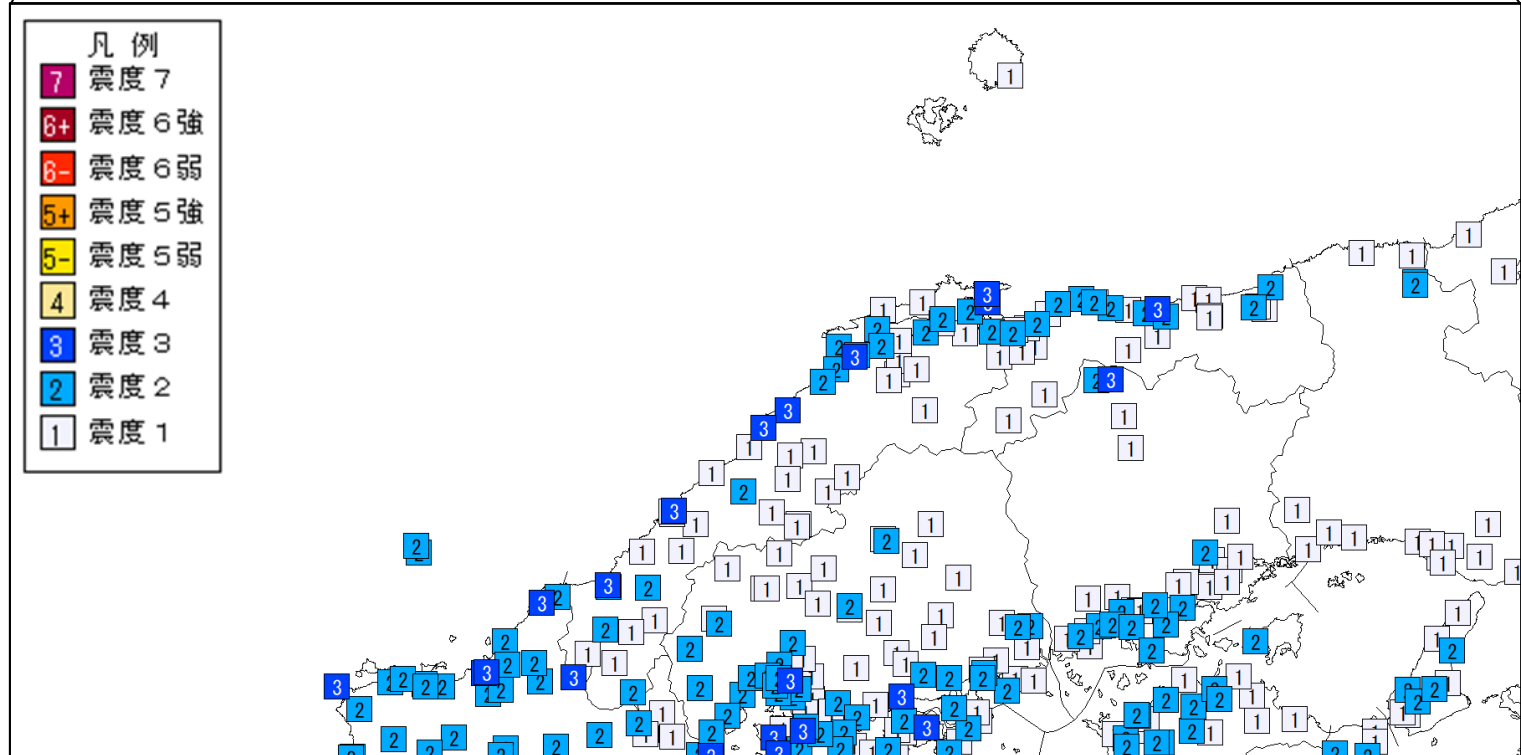
2026年7月28日16時27分 熊本県熊本地方



×印は震央を示す

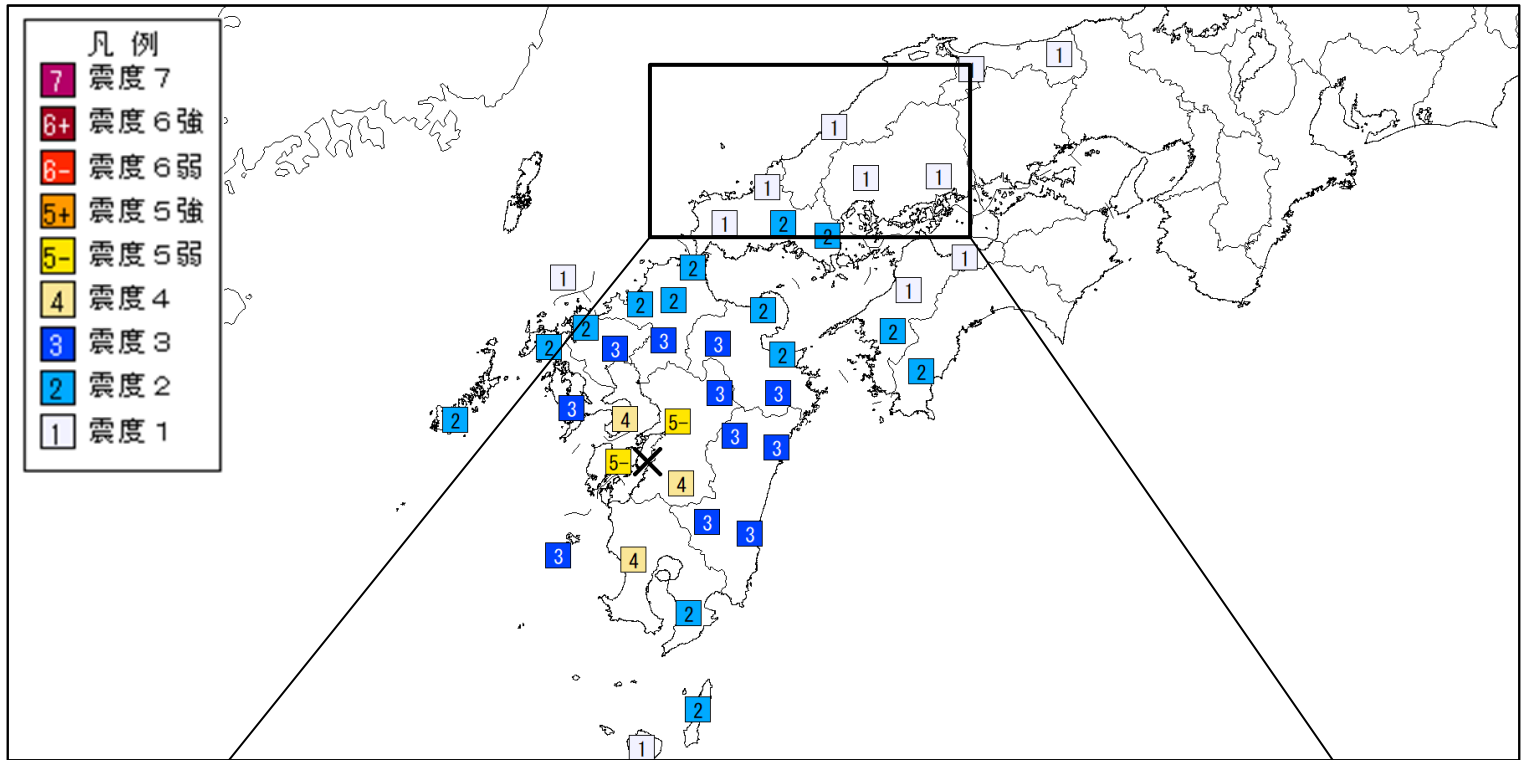
【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



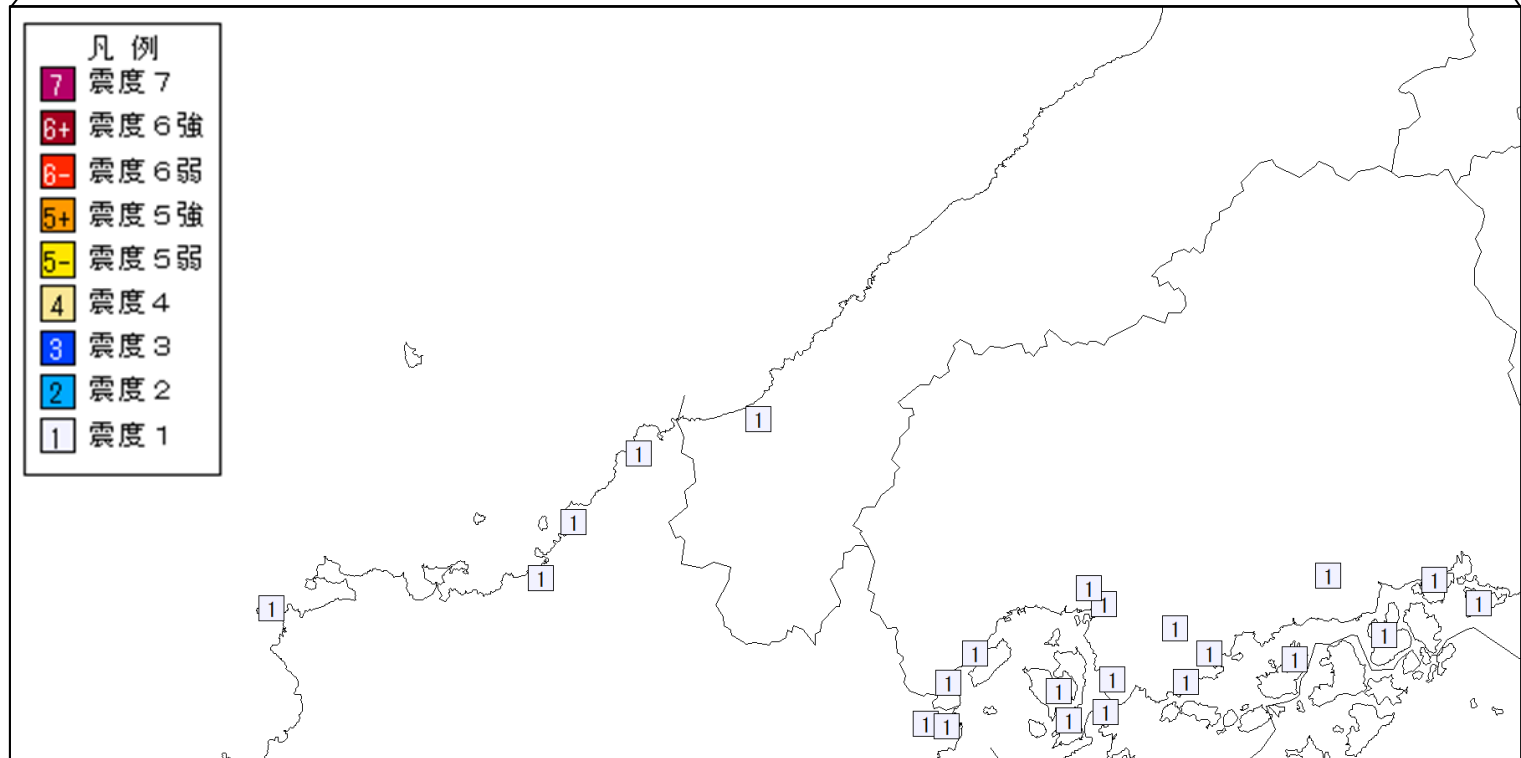
【地域震度分布図】

2026年7月28日17時08分 熊本県天草・芦北地方



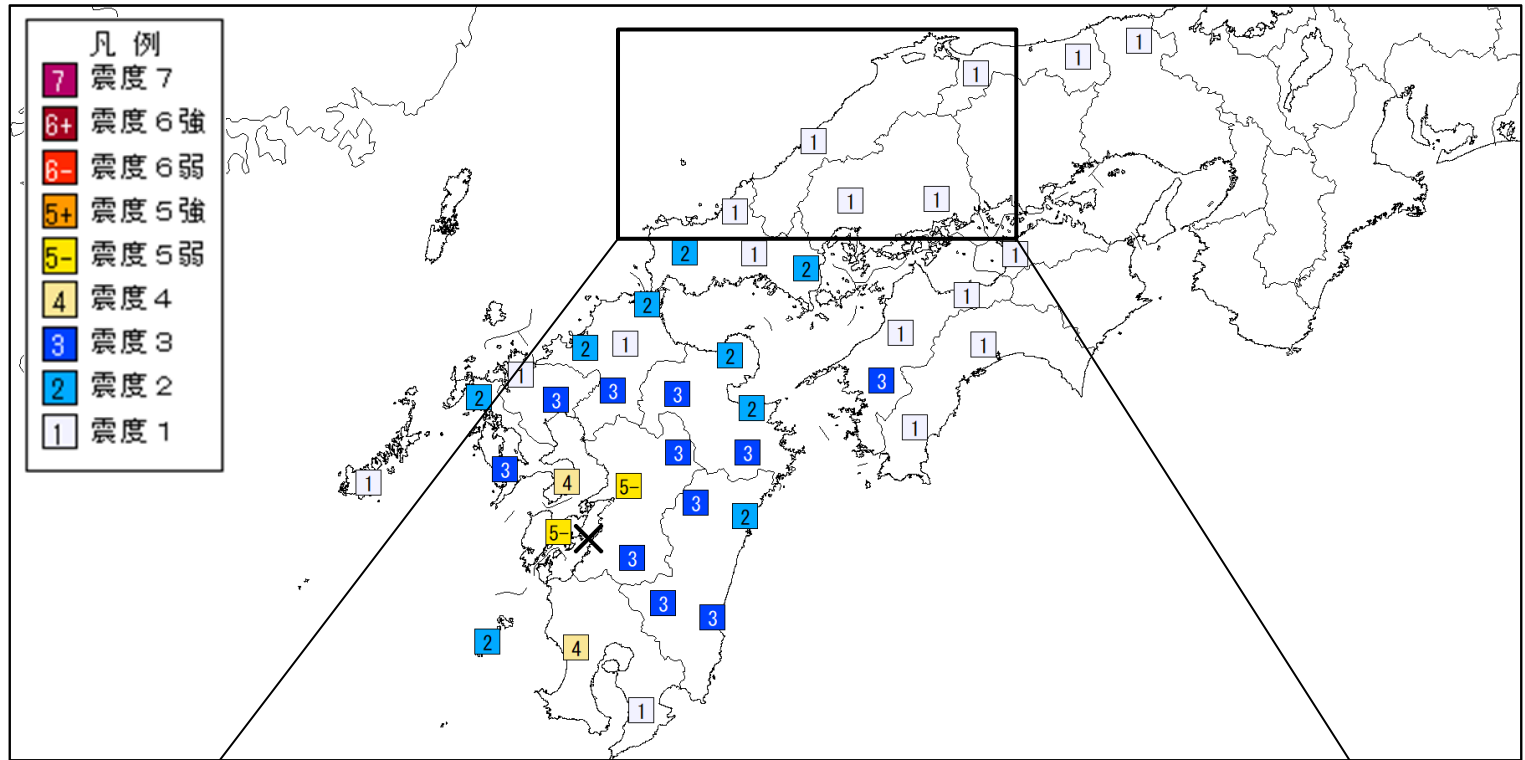
【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



【地域震度分布図】

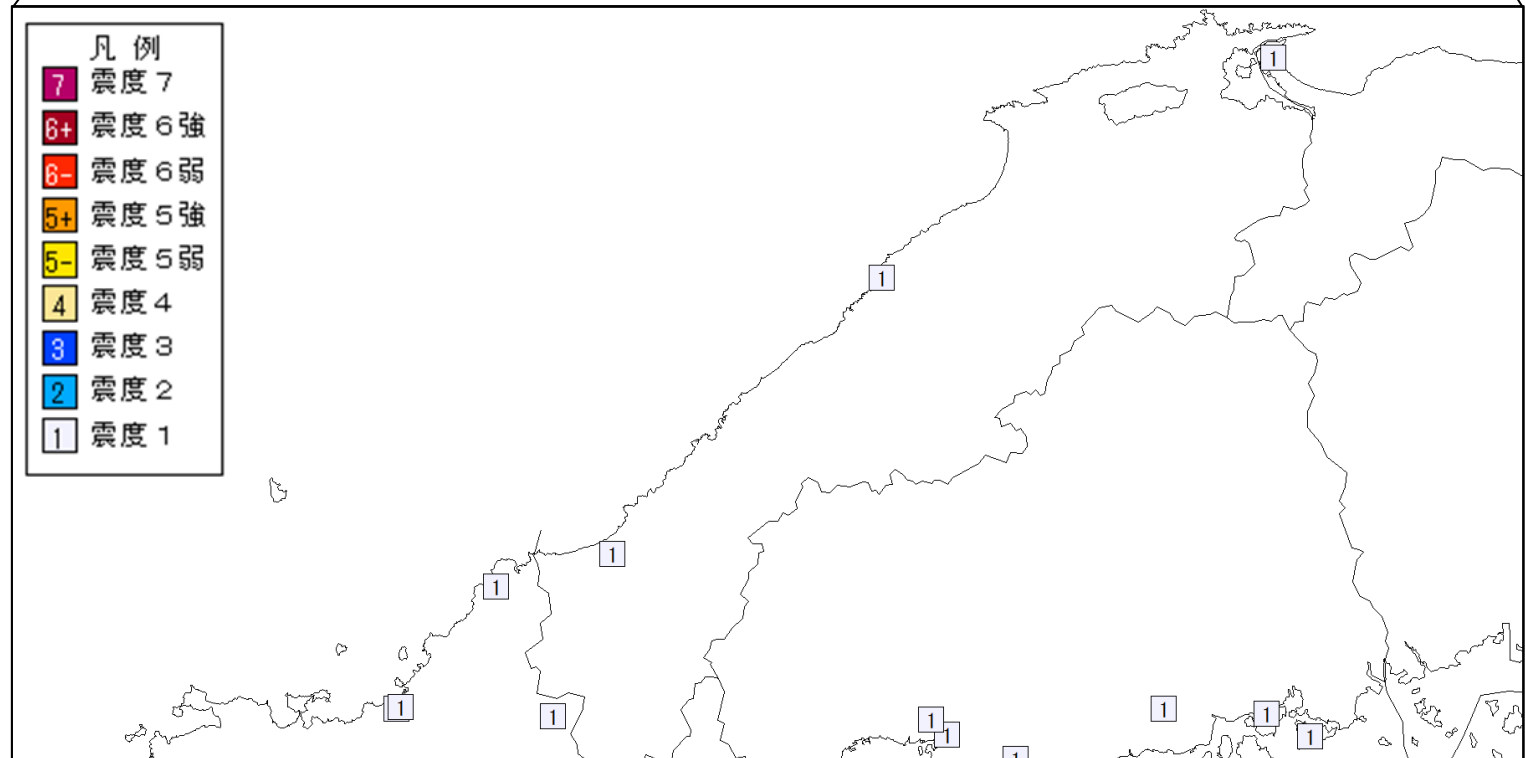
2026年7月29日22時19分 熊本県天草・芦北地方



×印は震央を示す

【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



火山現象に伴い発生する津波について

6月号では遠地地震による津波について解説しましたが、今月号は8月26日の「火山防災の日」にちなんで、火山現象に伴い発生する津波について解説します。

○火山現象に伴い発生する津波について

津波は海底で発生した地震に伴い発生することが多いですが、火山噴火活動による山体崩壊や大規模噴火による気圧波に伴って津波が発生することがあります。今回は大規模噴火による気圧波に伴う津波（図1）について、2022年1月15日13時頃（日本時間）に発生したフンガ・トンガーフンガ・ハアパイ火山の大規模な噴火（以下「トンガ諸島の火山噴火」という。）の事例を交えながら詳しく解説します。

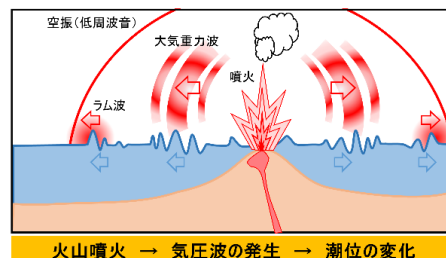


図1 大規模噴火による気圧波に伴う津波
（例：2022年 トンガ諸島のフンガ・トンガ
ーフンガ・ハアパイ火山の噴火）

○海外火山の大規模噴火による気圧波に伴い発生する津波

・トンガ諸島の火山噴火及び日本国内の潮位変化の概要

トンガ諸島の火山噴火による噴煙高度は、52,000フィート以上（約16,000m）に達しました（ウェリントン航空路火山灰情報センターによる）。この大規模噴火によるものとみられる潮位変化が日本国内でも観測され、鹿児島県の奄美市小湊で134cmを観測したほか、太平洋側を中心に日本国内の多数の潮位観測点で観測されました（図2）。中国地方では日本海沿岸の観測点で15cmの潮位変化（鳥取県）を、瀬戸内海沿岸の観測点で12cmの潮位変化（山口県）を観測しました。高知県、徳島県、三重県、宮城県では、この潮位変化により、転覆船・沈没船等30隻等（国土交通省調べ）の被害が発生しました。

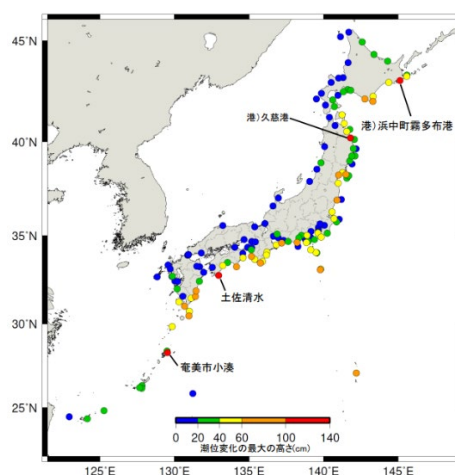


図2 国内で観測された潮位変化の最大の
高さ（令和4年1月地震・火山月報
（防災編）より）

・トンガ諸島の火山噴火により発生した気圧波及び日本国内の潮位変化と気圧変化

トンガ諸島の火山噴火により生じた空振と見られる気圧波は、気象衛星「ひまわり」の衛星画像（図3）を見ると、フンガ・トンガフンガ・ハアパイ火山付近から同心円状に地球規模で伝播していく様子が分かります。

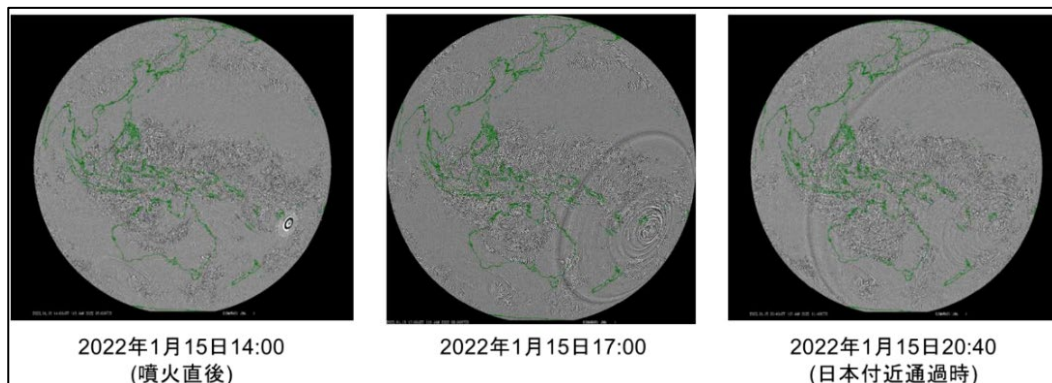


図3 気圧波伝播の様子：気象衛星「ひまわり」衛星画像※時刻は日本時間
（火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方（報告書）図表集より）

日本付近に気圧波が到達した1月15日20時40分頃(図3)と同じ時間帯に日本国内で南東方向から北西方向への2hPa程度の気圧変化があり、気圧変化から30分～1時間程度遅れて、地震に伴う津波の伝播速度から予想される到達時刻より3～4時間程度早く潮位変化が観測されました。一例として奄美での潮位変化と気圧変化の時系列(1月15日18時00分～16日06時00分)を図4で示します。

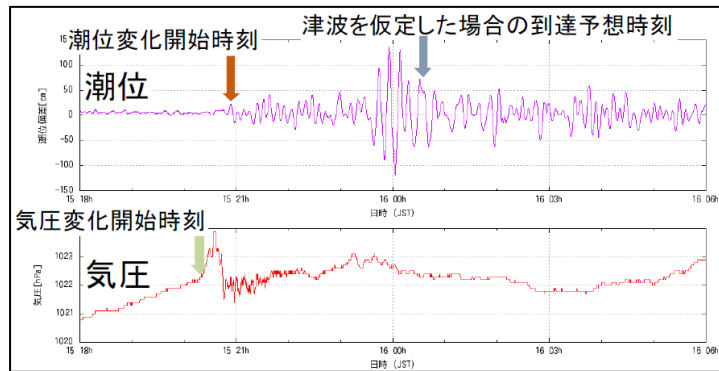


図4 潮位変化と気圧変化の様子(奄美の例) ※時刻は日本時間
(フンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ火山の噴火により発生した潮位変化に関する報告書(概要)より)

○海外火山の大規模噴火に伴う情報発表

トンガ諸島の火山噴火について、気象庁では、津波の観測値に基づき、津波警報・注意報を発表しました(津波警報・注意報発表:1月16日00時15分～14時00分)。

図5は海外火山の大規模噴火に伴う情報発表の流れです。「遠地震に関する情報」にて、大規模噴火の発生や気圧波に基づく津波※の到達予想時刻、海外の潮位観測結果等を随時提供し、衛星画像解析で明瞭な変化が観測された場合等、「津波発生の可能性が高まった」場合は記者会見等で解説します。その後、国内で津波を観測した場合は、その観測値に基づき該当する津波予報区に津波警報等を発表します。津波警報等が発表された場合の取るべき行動は地震に伴い発生する津波の場合と同様です。

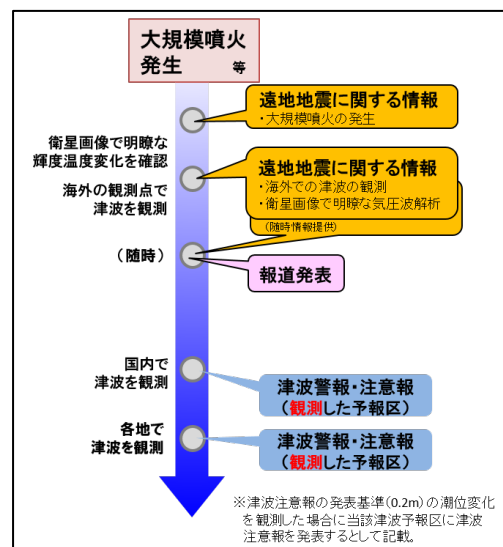


図5 海外火山の大規模噴火に伴う情報発表流れ

※火山噴火による気圧波に伴う潮位変化は、地震に伴い発生する津波とは異なる性質の潮位変化ですが、防災対応には理解のしやすさが重要であるため「津波」として情報提供し、また津波警報・津波注意報の仕組みを活用し注意警戒を呼びかけることとしています。

火山現象に伴い発生する津波やその津波に対する情報発表、トンガ諸島の火山噴火の詳細については、気象庁ホームページ「地震や火山現象等に伴い発生する津波」(以下アドレス)をご参照願います。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami/various_causes.html

【8月26日は「火山防災の日」です!】

気象庁ホームページ「火山防災の日」特設サイト(以下アドレス)では、火山災害や火山防災などについて詳しく説明しています。「火山防災の日」をきっかけに、火山の魅力・恩恵やその危険性を正しく理解し、火山災害に備えましょう。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/kazanbosai/index.html>